

2022年、押原小学校は地域・保護者に支えられ、コミュニティ・スクール9年目を迎えます。

学校と家庭・地域とをつなぐコミュニティ・スクール通信



昭和町立押原小学校
CS学校通信 NO. 9
令和4年12月19日
校長 深澤 秀興



校長室の窓辺より

子どもを評価すること

ここ数日、厳しい寒波が日本列島を覆っています。そんな中、子どもたちが、白い息を吐きながら登校してきます。辻で迎える私は、「おはようございます」という挨拶と共に、「よく、頑張ってきたね」と言う言葉が、思わず口をついて出ます。厳寒の中、色々な思いをランドセルに詰め込んで登校してくる子どもたち。その時点で、私の子どもたちに対する『あゆみ』（←本校の通信票）は、半分以上「大変よい」という評価です。

学期末を迎え、先生方は成績処理に余念がありません。時間が許す人は夜9時頃まで。家事を抱える先生方は、思わず「どこかへ御旅行ですか」と声を掛けたくなるほどの荷物を抱えての帰宅。夜なべ仕事となります。これが社会問題となっている、教員の多忙化の現実の1つです。

そんな中、私は職員会議等を通じて、先生方に問いかけます。「評価」とは何か、と。「評価」に似た言葉で「評定」（予め80点以上を「よくできた」にするといった基準（←規準ではない）を定め、これにより子どもの学習を評価する行為）という言葉もあります。『あゆみ』はあくまでも評価書であって、評定書ではない。そのことを評価する教師がどれほど理解しているか。そもそも、「私は、あなたのことを評価しています」といった場合、「評価」という言葉には、「あなたのを十分理解し、認めている」といった意味があります。そこで先生方には、この意味をよく理解し、1人一人の子どもの2学期の学び・生活を評価して欲しいと、お話をさせていただいています。

更に、先生方には、「次につながる評価を」、「評価することは、評価されること」といった内容もお話しさせていただいています。かつて『あゆみ』の下書きの段階で、算数の評価において、意欲の評価と1項目が「できた」の評価、残りの項目が「がんばろう」という『あゆみ』を見たことがあります。私はその先生に、「『できた』に満たない点数だったこの児童に、テスト直しと、補習をしましたか」という問いと、「この『あゆみ』を子ども、保護者に手渡すねらいは何ですか」という2つの問いを投げかけました。私は、補習を行い、出来なかった事を出来るようになったという成功体験と、補習後の2度目のテストでUPした点数により評価してあげることの方が、その子のやる気を引き出し、次につながる評価になるのではないかと、気づいて欲しかったのです。更に、ほとんどの項目に「がんばろう」を付けるということは逆に、教師自身の指導力を問われかねない、逆評価されることに気づいて欲しかったのです。子どもを最も評価（＝理解）している最大の大人は、他ならぬ保護者である

ということ。保護者は、「生活面」においても、何が「よくできる」のか、何が「がんばろう」なのかを分かっている。人を育て、評価する教師とは、このように厳しい仕事であることを先生方に再確認していただくと共に、愛情のある・次につながる評価となるよう、学校一丸で取り組みたいと思います。



【冬の日だまり・押原小】



【裏面も御覧ください】

群れて学ぶ・遊ぶ・楽しむ

本校の学校教育目標は、「ともに学び合い、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」となっています。私は、頭に「ともに」を冠したこの学校教育目標を、大変気に入っています。そもそも私達人間は、人の間に存在する生き物です。ましてや、その人間、成人を育む小学校教育においては、異年齢や地域の方々を含め、多くの方々と一緒にすることが大事だと考えています。そのような中、本校では6日（1年生）、7日（2年生）と2日間に渡り、昭和総合型地域スポーツクラブカメラリア様をお招きし、Special授業を行っていただきました。若干肌寒いものの、雲一つ無い青空の下、西には雪をかぶった南アルプスの連山を眺める校庭で、7日には2年生が、「引く、引っ張る」をテーマに、友達と一緒に楽しく体を動かしました。普段あまり使わない筋肉を使って、たっぷり楽しみました。



心を静め、集中するという体験

年明けに空き初め大会を予定している本校は毎年、書家をお招きし、3年生以上を対象に手ほどきをしていただいています。昨年までは伊藤緑山先生に御指導を頂きましたが、今年からは本校卒業生である林和輝先生に御指導を頂くことになりました。この講座は、全3回あります。今年のお題は、3年生が「つき」、4年生が「天空」、5年生が「花さく町」、そして6年生が「平和な国」となっています。早速、林先生に「花丸」をもらいながら、お習字に取り組んでいました。この年になると、字が上手に書けるようになって欲しいとか、賞状目指してがんばって欲しいとか、色々な思いも当然あります。しかし、その一方で、子どもの頃には考えなかったであろう、墨「墨汁」の香りをかぎ、まさしく日本文化の風情を感じて欲しいとか、あるいは、心を静め、筆の入り、止め、はね、払い、一角の長短等に全神経を集中させる「時」を持つとか、そんな経験を積んで欲しいといった思いもつります。



スーパー講師、続々!

本校は来年度に向け、「コミュニティ・スクール」、「ふるさと教育」、「SDGs」、更に町長さんが提唱する「持続可能な成長」を支える人材育成を柱に、「総合的な学習の時間」を中心とした教育課程（教育内容、時間を含む教育計画）の改編作業を行っています。そのような中、保護者、地域の皆様方から御要望のあった「環境教育」に係わって、来年度、スーパー講師が本校のビオトープを中核に据えた学習指導に、恒常的に係わって頂けることになりました。そのスーパー講師とは、「HOOKかんきょう『協育』事務所」を主宰なさる野澤健夫先生です。先生は山梨県教育庁生涯学習課が中学生を対象に実施している「やまなし少年海洋道中」のヘッドカウンセラーを務められている他、「やまなしエコティーチャー」でもいらっしゃいます。活動ネームはタイソンだそうですが、実は「釣り吉三平」です。環境教育について造詣が深く、子どもたちが興味を抱く活動を、たくさんポケットの中に持っていらっしゃいます。そのような方が、計画から実施まで、1年間恒常的に本校教育活動に係わってくださるとのこと。この上ない助っ人です。押小川について、先生には「イイ川ですね。私も楽しみです。」と仰って頂きました。来年度に向け、一段とギアを上げ、押小教育の充実を目指していきます。乞う御期待!



【1月】の主な予定

6日（金）始業式	22日（日）家庭学習振り返りの日
9日（月）成人の日	23日（月）SDGsの日
11日（水）給食開始	24日（火）スキー教室
発育測定（1・2年）	25日（水）特別日課（4校時）
スクールカウンセラー来校	中巨摩冬季教育研究会
集団下校	26日（木）新入児保護者説明会PM1:50
12日（木）発育測定（3・4年）	運動能力向上プログラム（2年）
13日（金）発育測定（5・6年）	阿原地区・地区懇談会PM7:30
委員会	27日（金）クラブ活動
PTA文化広報部PM7:00～	運動能力向上プログラム（1年）
18日（水）集団下校	押越地区・地区懇談会PM7:30
20日（金）1年校外学習（押原公園）	30日（月）特別日課（6校時）
クラブ活動	中島地区・地区懇談会PM7:30
築地地区・地区懇談会PM7:30	

*詳細は学年だより等で、御確認ください。

【本校ホームページ内で、日々blog更新中】